

# プロジェクト！「浜の応援団」

－ 水産日本の復活に向けて －

平成26年2月  
水産庁

## 目次

○今、浜は動き出した！	..... P.1
○プロジェクト！「浜の応援団」	..... P.2
○「浜の応援団」との連携・協力のイメージ例	..... P.3
○お問い合わせ先	..... P.4
○浜の応援団プロフィール	..... P.5

# 水産日本の復活に向けて

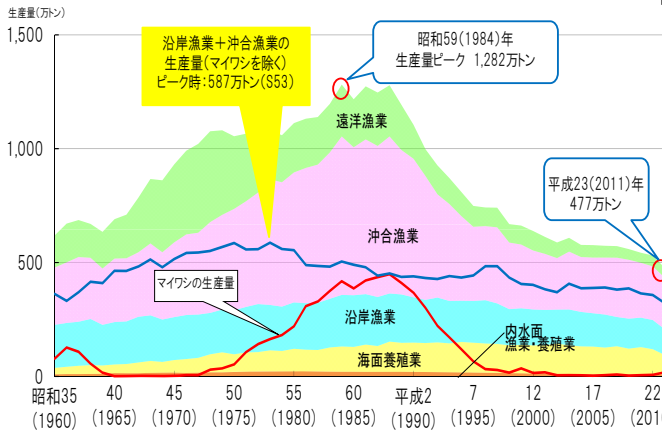
— 今、浜は動き出した！ —

- 現在、漁業者の高齢化・減少や燃油・飼料コストの上昇など、我が国水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、漁村は活力喪失。
- 他方で、我が国は、世界第6位の広さを擁し、好漁場である排他的経済水域を有するなど、高い潜在力を保有。
- この潜在力を十二分に引き出すことで、「攻めの水産業」に転じ、水産業の成長産業化を実現するために、「自分たちは、何をすべきか？」、今、浜の関係者が一体となって、自ら真剣に考え出したところ(例：全漁連のプライドフィッシュ、浜の活力再生プランの取組など)。

各国の排他的経済水域面積と国土面積の順位

国連海洋法条約により、自分の国が自由に漁業ができる範囲は、排他的経済水域の範囲内(自分の国から200海里=約370kmまで)に限られている。

漁業部門別生産量の推移



国名	領海+排他的経済水域面積	国土(内水面を含む)面積順位	世界の海面漁業生産量に占める割合(順位) [2011年]
1位 米国	762万km <sup>2</sup>	3位	6.2% (4位)
2位 オーストラリア	701万km <sup>2</sup>	6位	0.2% (57位)
3位 インドネシア	541万km <sup>2</sup>	15位	6.4% (3位)
4位 ニューージーランド	483万km <sup>2</sup>	76位	0.5% (31位)
5位 カナダ	470万km <sup>2</sup>	2位	1.0% (21位)
6位 日本	447万km <sup>2</sup>	62位	4.6% (6位)

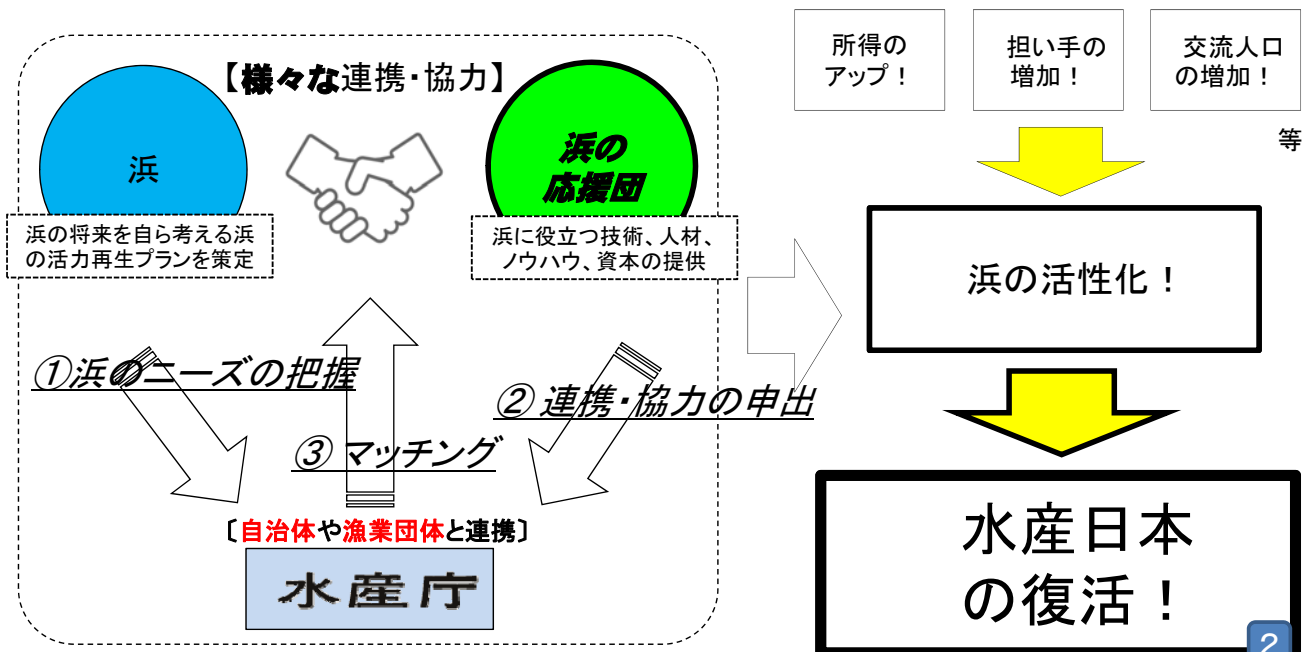
資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

※日本の国土面積は約38万km<sup>2</sup>。  
資料：米国内務省「LIMITS IN THE SEAS」、海上保安庁HP  
米国中央情報局「The World Factbook」、  
FAO「Fishstat(Capture production)」  
農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

# 水産日本の復活に向けて

— プロジェクト！「浜の応援団」 —

- 再び浜を活性化させ、ひいては、水産日本の復活を実現させていくためには、従来の発想を超えた大胆な取組が必要。
- そのため、漁業界のみならず、広く、技術や人材、ノウハウ等をお借りたいという浜が存在。
- こうした水産日本の復活に取り組む漁業界と連携・協力し、後押ししていただける方々、それが「浜の応援団」。
- 両者のニーズを踏まえながら、水産庁が橋渡し役になり、マッチング。



# 「浜の応援団」との連携・協力のイメージ例



## お問い合わせ先

**水産庁  
プロジェクト！「浜の応援団」事務局**

Email: [suisan\\_hamanoouen@nm.maff.go.jp](mailto:suisan_hamanoouen@nm.maff.go.jp)

プロジェクトHP(登録フォーム等が掲載)

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/hamanoouen.html>

(参考) 浜の応援団プロフィール		連携協力分野	
		<input type="checkbox"/> 養殖業 <input type="checkbox"/> 養殖業以外 <input type="checkbox"/> 加工 <input type="checkbox"/> 流通 <input type="checkbox"/> 小売り	<input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> 観光・交流・地域活性 <input type="checkbox"/> その他
応援団になっていただける方のお名前又は団体名		ふりがな	
略歴又は活動内容			
ご住所	<input type="checkbox"/> (公開) <input type="checkbox"/> (非公開)	〒	
関連ホームページ等		ホームページやフェイスブック等がある場合はご記入下さい。	
生年月日又は設立年月日等	<input type="checkbox"/> (公開) <input type="checkbox"/> (非公開)	団体等の場合は、設立年月日、職員数、資本金等をご記入下さい。	
水産業との連携・協力の実績について		これまでに水産業との連携・協力の実績があれば、具体的な地区や取組内容についてご記入下さい。	
浜の応援団として連携・協力したい内容について		所有している技術や人材、ノウハウ等アピールしたいことをご記入下さい。	
連携・協力の活動エリア		例えば、全国どこでも可、九州地区内のみ、〇〇県内のみ、〇〇県△△市内のみ対象等、応援団として活動して頂けるエリア(地区)をご記入下さい。	
その他		これまでの活動で表彰歴や受賞歴等があればご記入下さい。また、その他ご自由にご記入下さい。	
ご連絡先		E-Mail:	
		TEL:	FAX:
ご連絡方法		<input type="checkbox"/> E-Mail <input type="checkbox"/> TEL <input type="checkbox"/> FAX	
団体等の場合は、以下についてもご記入下さい。			
ご担当部署名			
ご担当者名		ふりがな	

※プロフィールは原則、公開とします。ご住所、生年月日等については、公開又は非公開のいずれかにチェックして下さい。  
 ※各項目について、書き切れない場合は行数を適宜増やしていただいて結構です。2ページとなっても構いません。